

柿岡地区	一九、三六五円
小幡	一二、八〇一円
芦穂	一三、〇〇〇円
恋瀬	一二、七三〇円
瓦会	一〇、五六〇円
園部	八、二〇〇円
東成井	七、三〇〇円
林	七、四六〇円
小桜	一二、四三〇円
中戸百寿会	六、〇〇〇円
園部第一、二、五百寿会	各 五〇〇円
小幡地区百寿会連合会	三、〇〇〇円
芦穂第一、三、四、五、六 百寿会	各 五〇〇円
林地区百寿会連合会	二、五〇〇円
瓦会第三百寿会	一、五〇〇円
研究所子ども会	一、二〇〇円
仲町子ども会二、〇三〇円	衣料 四〇点
新地	七一二円
荒宿西町	四、五九五円
辻(吉生)	五〇〇円
畔川吉太郎	衣料 六〇点
根本米子、村松清芳	雑誌 一〇〇冊

いつでも、都合のよい日においでください。

寒風ついて恒例の出初式

消防協力団体などを表彰



「きびきびした敬礼を受ける点検官」

一月九日、恒例の出初式が八郷高校々庭において行なわれ、八郷消防団の意気と機動力のすばらしさをみせてくれた。また、この出初式にあたり消防に協力された団体や個人、永年勤続団員に対して、県の表彰伝達と、町からの表彰があった。

いっせいにサイレンや半鐘が鳴りわたり、午前八時三十分には八郷高校々庭も町内から集結した消防団員、消防器具でいっぱいになった。午前九時キップ、多数来賓の見守る中で副団長の開式宣言が行なわれ、町長が点検官となつて、服装点検が行なわれた。つづいて郡大会出場の本部第一自動車分団と一自動車分団と

八郷消防団恒例の出初式 二分団、地区五七分団、団員 九六七名が参加して盛大に行なわれた。この日は、午前六時、町内 規律を示す分列行進が、きび

成人 式典 ことしも鹿島神宮で 帰りに鹿島港の建設を見学



香取神社で 記念撮影する成人者

式が、ことしもさる一月十五日鹿島神宮に成人者二六四名(該当者三七四名)を招いて行なわれた。この日は、成人者の門出を祝福するのと同じく、カラリと晴れわたる、成人者の顔は喜びでいっぱい。各地区から成人者を乗せたバスは午前八時石岡に集合、それからバス五台をつらねて一路、式場の鹿島神宮へと向かった。式は、午前十時教育長の開式のことははじまり、祝詞奏上、御神酒授与などを受け、成人者に町長から成人証書と記念品がわたされた。つづいて、主催者である町長や来賓の渡田県議、桜井議長から「成人になられた皆さんにお祝いを申し上げます」とのあいさつがなされた。成人者の中には、責任のある行動、そして健康に注意して、おとなとしての義務をはたしていただきたい」と、あたたかいことばで励まされた。

最後に、成人者を代表して菊地武雄君(柿岡)から「いままでは、両親や先輩のかたがたのあたためかき思いやりを支えられて、成長してきました。しかし、これからは独立した社会人として、きびしい世界に迷うことなく、力強く生き抜いていきたい」との謝辞があり、喜びのなかにも厳粛な式にのぞみ、一同成人になられた強い責任感をかみしめていた。

式終了後、鹿行開発の基点となる鹿島港建設の見学や香取神社の参拝、記念撮影をして帰路にたち、午後五時解散した。

町民に町の行政をよく理解していただくための「町政を聞く会」が、一月十二日大増小学校で開かれ、大増部住民約四〇名が参加した。

この「町政を聞く会」は、県と町の選挙管理委員会、明くる正しい選挙推進協議会が共催し、町長と町民の話し合いの場をつくり、有権者に町、県の政治に対する関心を高めるため、選挙の重要性の認識と、選挙の公正性の実現を図ることを目的に開いたもので、このような会は、県内各地で開かれ

う機会をつくり、有権者に町、県の政治に対する関心を高めるため、選挙の重要性の認識と、選挙の公正性の実現を図ることを目的に開いたもので、このような会は、県内各地で開かれ

新しく 成人になられた若人をお祝いする。成人者には、責任のある行動、そして健康に注意して、おとなとしての義務をはたしていただきたい」と、あたたかいことばで励まされた。

最後に、成人者を代表して菊地武雄君(柿岡)から「いままでは、両親や先輩のかたがたのあたためかき思いやりを支えられて、成長してきました。しかし、これからは独立した社会人として、きびしい世界に迷うことなく、力強く生き抜いていきたい」との謝辞があり、喜びのなかにも厳粛な式にのぞみ、一同成人になられた強い責任感をかみしめていた。

式終了後、鹿行開発の基点となる鹿島港建設の見学や香取神社の参拝、記念撮影をして帰路にたち、午後五時解散した。

町民に町の行政をよく理解していただくための「町政を聞く会」が、一月十二日大増小学校で開かれ、大増部住民約四〇名が参加した。

この「町政を聞く会」は、県と町の選挙管理委員会、明くる正しい選挙推進協議会が共催し、町長と町民の話し合いの場をつくり、有権者に町、県の政治に対する関心を高めるため、選挙の重要性の認識と、選挙の公正性の実現を図ることを目的に開いたもので、このような会は、県内各地で開かれ

う機会をつくり、有権者に町、県の政治に対する関心を高めるため、選挙の重要性の認識と、選挙の公正性の実現を図ることを目的に開いたもので、このような会は、県内各地で開かれ

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄

町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄 町長表彰 町長 小林 久義 大関 高雄



「もち」について隊員を慰労

整地のお礼にと 自衛隊父兄会が

これまで、南中、柿岡中の整地に陸上自衛隊の協力をしていたが、父兄会としてお礼もできなくては申し訳ない、地元自衛隊、五会員の父兄会が、お父さんお母さんにあたる会員と語りあつたり、歌つたり、一日ゆっくりくつろいだ。隊員のお父さん、ほんとうに苦勞さんでした。(写真はいっしょになってもちをつく隊員)

上自衛隊の訓練や通信学校などをへて、現在無線通信士として勤務しています。これまでに、護衛艦「ありあけ」や「わかば」の通信を、米軍や豪州方面に遠洋航海をしていました。

こんどの南極観測船の乗組員には、海上自衛隊が、たつていますが、多くの隊員のなかから選ばれ、長い間の訓練をへて、はじめて乗組員として参加できたのです。

町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。

町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。

町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。

町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。

町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。

町自衛隊父兄会(会長鈴木修三氏)では、さる十二月十四日有明中敷地の整地をしていただいた陸上自衛隊駐屯地と部隊員三四名を、感謝状と、お礼の品を渡す。



町長と町民が話し合い

大増「町政を聞く会」開く

町民に町の行政をよく理解していただくための「町政を聞く会」が、一月十二日大増小学校で開かれ、大増部住民約四〇名が参加した。

この「町政を聞く会」は、県と町の選挙管理委員会、明くる正しい選挙推進協議会が共催し、町長と町民の話し合いの場をつくり、有権者に町、県の政治に対する関心を高めるため、選挙の重要性の認識と、選挙の公正性の実現を図ることを目的に開いたもので、このような会は、県内各地で開かれ

う機会をつくり、有権者に町、県の政治に対する関心を高めるため、選挙の重要性の認識と、選挙の公正性の実現を図ることを目的に開いたもので、このような会は、県内各地で開かれ

片言

成人おめでとう。若い人たちの勇気は、悪いことばかりを改めることができる。だが古いものの中にも良いものがある。これを守ることは一層勇気がいる。自分の幸せを求め、他人をも幸福にすることは、さらに大きな勇気が必要となる。

学校教育は、明治以来、よく日本の興隆をささえてきたが、同時にかの惨敗をもたらし、この反省にたつて公民館こそ、戦後二十年の日本の

広域事業で石岡地区連が主体になり、家畜のし尿処理

一四〇名が参加して熱心に学習

この集会は毎年開かれていて、具体的な問題点を研究課題としてとりあげ、みんなで学習して郷土開発の推進に寄与しようというものです。

当日は、すでに各地区集会で討議された問題点をもちより、研究課題別に三つの分科会に分かれて熱心に話し合いが行なわれたものです。午前中で各分科会の討議を打ちきり、午後全体会で分科会別に発表があった。ここに学習した主なる問題点をのせてみました。

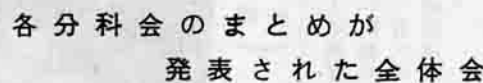
地域開発と成人教育について

地域開発と成人学習の必要性について

參加者 約三五名

地域における農
林業の振興対策

水源の確保を図るためには
どうしたらよいか
林道の開発を進めることに
よって植林の増進と森林の
保護により水源は確保でき
る



●土地区画整理（交換分合）
や農道改修によって生じる土地登記などは早くやってほしい

■作目の統一を図るにはどうしたらよいか

○現在、農作物はどんなものでもできるが、それでは進展しない。町は土地の交換分合などによって適地適作を進めてはどうか。例えば、水稻を一・二品種に統一したらよい

○作目の統一も関係すると思うが、さらに出荷流通機構の改革も必要ではないか

○現在ある認意組合の成長を図り、農協が中心となり、町一本化を強力に進めてはどうか

(4)

一票にわが良識の精いっぱい
六年の政治を託すこの一票
花の春桜に負けないよい選挙
日本のゆくえを決めるこの一票
ばくの票あなたの票が国きずく
平和への道は笑顔の話しあい
尊い一票自分の意思で
ちよと待て義理で書くより選ぶ義務
良心に悔いない一票五月晴れ
盗人の出なくなるのも選挙から
留守番の坊やのためにともい投票
老いたる母も清き一票
わたしの一票日本を生かす
母さんいい人選んでね
よい選挙あなたとわたし育て役
正しい選挙で明るい日本
連呼口約もうけこう
そろって投票笑顔のくらし
積る票築いて明るいわが日本

(上)

モ　メ　の　し　暮

昔から……

“^{あらゆ}新湯は毒、

冬は、お風呂には
いるのも一つの楽し
みですが、お風呂は
腹がすいているときとか、食
事のすぐあと、疲れすぎてい
るとき、酔っているときはさ
けます。

体が疲れているようなとき
には、熱めの湯に、それも五
分くらいで足りあげます。疲
れがむしろ精神的なものであ
るような場合は、ぬるま湯に
はいるのがよい。毎日、お風
呂にはいる人は短い時間でさ
っとあがります。はいるたび

文芸

○子ども会の活動をかつぱつ化し、表彰制度を強化していくことがよい

○青少年の不良化は、親が子どもに関心をもたないことからである

文
藝

俳句 増子海哉選
柿岡 齊藤 重夫
いつも寄る一人の客と年惜しむ

雑煮祝う子らの笑顔を湯気越しに
心まで尖り師走の山嶺し
太田 藤岡 紫影
小見 高野 暁風
元日や生ける恵みをしみじみ

ふんばれる鳥居の力淑氣満つ
短歌 吉田次郎選

細谷 金沢 翠柳
ひさびさに帰省せし子と炉を
囲み稚煮を祝う今日の安らぎ
瓦会 増子 久子
虚飾なき子のクレヨン画若駒
に添ふる青草みずみずとして

暮しのメモ
 昔から……
 “新湯は毒”
 冬は、お風呂にはいるのも一つの楽しみですが、お風呂は腹がすいているときとか、食事のすぐあと、疲れすぎているとき、酔っているときはさけます。
 体が疲れているようなときには、熱めの湯に、それも五分くらいできりあげます。疲れがむしろ精神的なものであるような場合は、ぬるま湯にはいるのがよい。毎日、お風呂にはいる人は短い時間でさっとあがります。はいるたびにせっけんで洗い流すというようなことはさけます。
 「新湯は毒」と昔からいわれれています。いちばんはじめにはいる人は湯をよくかきまわしてからはいるようにしましょう。
 柳岡 千田 政市
 あかねさす空一筋に立ちのぼる夕飼の煙やわらかにみゆ
 仲間よりはづされし子がバトミントンの相手せよとう父なるわれに
 選者 詠
 安らかに向ひてゐにけりおつくばの山に元旦の日のあたる色
 俚語 林 嶺月選
 加生野 田村 葦舟
 床の掛軸七福人と笑え交わした今朝の春
 川又 川又 鬼城
 きつと御丈夫新宮様は寒い師走の風に乗る
 月岡 山田 紫影
 坊も一口明るい募金街に歳末助け合い
 太田 藤岡 紫影
 千代の松ヶ枝歴史を秘めて光る有明中学校
 選者 詠
 六十翁の珍芸も見せてお屠蘇嫌の初笑い